

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年12月02日

計画の名称	持続可能な公共交通ネットワークの形成に資する新たな交通結節点整備												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	仙台市												
計画の目標	自由通路や駅周辺施設を整備することで、高齢者や身障者等にとって安心・安全な環境が創出できるとともに、鉄道への結節により、自家用車から鉄道利用へ転換することで、過度に自家用車に依存しないライフスタイルへの変革に寄与する。 将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークを形成する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,279	A	1,279	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	-	R7末
1	自由通路及び駅の移転に伴う利用環境の改善 交通結節点として利用環境が改善されることで自由通路・駅利用者の増加	0人	人	0人
2	日常手段における自家用車から鉄道に転換したものの割合 新駅利用者のうち、日常の交通手段を自家用車から鉄道に転換した者の割合	0人	人	0人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	仙台市	直接	仙台市	-	-	自由通路整備	L=37m、W=3.5m、エレベーター 整備	仙台市						492	1.1	-
	A13-002	都市交通	一般	仙台市	間接	東日本旅客 鉄道(株)	-	-	駅移転整備	鉄道施設整備	仙台市						382		-
	A13-003	都市交通	一般	仙台市	直接	仙台市	-	-	駅前広場整備	乗降場(一般車+タクシー)	仙台市						317	1.1	-
	A13-004	都市交通	一般	仙台市	直接	仙台市	-	-	駐輪場整備	2段式ラック	仙台市						88		-
											小計						1,279		
											合計						1,279		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05		
配分額 (a)	1	9	0		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	1	9	0		
前年度からの繰越額 (d)	0	1	9		
支払済額 (e)	0	1	9		
翌年度繰越額 (f)	1	9	0		
うち未契約繰越額 (g)	0	9	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	90	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		他事業（下水道）との調整に不測の日数を要したことから、R4年度内に委託業務を発注することが困難となった。			

事前評価チェックシート

計画の名称： 持続可能な公共交通ネットワークの形成に資する新たな交通結節点整備

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合 1) 計画の目標が「新総合計画」と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合 2) 計画の目標が「仙台市都市計画マスタープラン」と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合 3) 計画の目標が「せんだい都市交通プラン」と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 整備事業の目標と定量的指標の整合性 1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性がある。 1) 定量的指標の明瞭性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 目標及び事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 2) 指標・数値目標が市民にとってわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性） 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性） 2) 住民の関心が高く、住民説明会の開催など、地元の合意形成に向け策定を進めている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） 1) 地元町内会等より結節点整備について要望活動があり、地元の意識が高い。	○